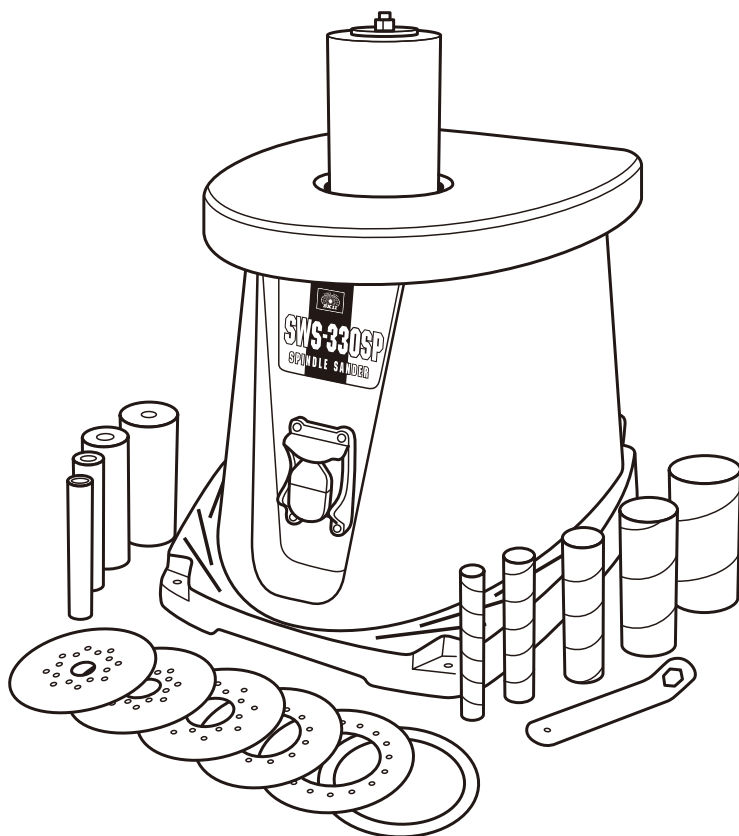




SPINDLE
SANDER

スピンドルサンダー SWS-330SP



NDEX [目次]

●仕様	1P
●電動工具安全上のご注意	1P
●電動工具を安全にご使用いただくために	2P
●工具の使用と手入れ	3P
●修理とメンテナンス	4P
●スピンドルサンダーを安全にご使用いただくために	4P
●使用電源に関して	4P
●研磨作業に関して	5P
●アース・漏電遮断器設置の確認	5P
●各部名称	6P
●用途・付属品	7P
●スイッチ操作方法	8P
●組み立て方	8P
●作業方法	9P
●ダストボードと集塵	9P
●各種アクセサリーの収納	9P
●保守・点検	9P
●故障と対策	10P
●分解図	10P
●部品表	11P
●無料修理規定	12P
●保証書	13P

このたびはSK11 スピンドルサンダーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

安全に正しくご使用いただくために、本取扱説明書をよくお読みいただき、安全にお使いください。

また、この取扱説明書はお手元に大切に保管しておいてください。

*外観及び仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

仕様

品番	SWS-330SP
電源	交流100V 50/60Hz
消費電力	330W
電流	3.9A
モーター回転数	8200min ⁻¹
スピンドル回転数	1700min ⁻¹
スピンドルサイズ	直径約13mm、ネジサイズM8×1.25mm
スピンドル上下動ストローク数	50回/分
スピンドル上下動ストローク幅	約16mm
サンディングドラム長さ	約115mm
最大研磨厚み	95mm
サンディングドラム直径	約13mm、19mm、26mm、38mm、51mm、76mm、6サイズ
サンディングドラム粒度	#60
テーブル寸法	375×295mm
集塵口寸法	Φ38.0
本体質量	約13kg
本体寸法(たて×よこ×奥行)	約460×350×400mm
電源コード長	約2.0m

電動工具安全上のご注意

安全確保のために

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡ししてください。

警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。 「  注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
注	この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。

-  この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。
-  この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。
-  この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

電動工具を安全にご使用いただくために

警告

作業場の環境について



作業場はいつもきれいに保ってください。
●ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。



禁止

子供を近づけないでください。
●作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
●作業者以外、作業場へ近づけないでください。



水ぬれ禁止

作業場の周囲状況も考慮してください。
●電動工具は、雨中で使用したり湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。



禁止

●可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



感電注意

感電に注意してください。
●電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



禁止

コードを乱暴に扱わないでください。
●コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。●コードを熱、油、角のついたところに近づけないでください。

警告

電気に関する安全事項



屋外使用に合った延長コードを使用してください。
●屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

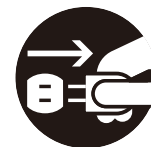
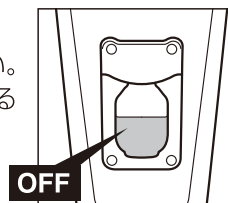


騒音防止規制について
●騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

個人的な警告事項



不用意な始動は避けてください。
●電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
●電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。



電源プラグを
抜く



禁止

きちんとした服装で作業してください。
●だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。



●屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
●長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



無理して使用しないでください。
●安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。



作業にあった電動工具を使用してください。
●小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
●指定された用途以外に使用しないでください。



油断しないで十分注意して作業を行ってください。
●電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して慎重に作業してください。
●常識をはたらかせてください。
●疲れている場合は、使用しないでください。

**保護メガネを着用してください。**

- 作業時は、保護メガネを使用してください。
また粉塵の多い作業では防じんマスクを着用してください。

**集塵装置が接続できるものは接続してください。**

- 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続し、正しく使用してください。



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

**防音保護具を着用してください。**

- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

**使用しない場合は、きちんと保管してください。**

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。

**材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。**

- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（加工する材料を動かす製品は除く）

**調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。**

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

工具の使用と手入れ



点検・確認

損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



よく読む



- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

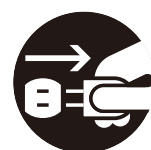


禁止

- スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

電源プラグを
抜く



電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。



よく読む

- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。



点検・確認

- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。



- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが切れないようにしてください。

修理とメンテナンス



禁止

正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- 取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。



分解禁止

電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となります。

スピンドルサンダーを安全にご使用いただくために

- 先に電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、スピンドルサンダーご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。

⚠ 警告

使用電源に関して



使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、ケガの原因となります。



必ずアース（接地）をしてください。

- 故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。
(詳細は、5ページの「アース・漏電遮断器設置の確認」の項をご参照ください。)

研磨作業に関して



禁止

使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用して使用しないでください。●キリの回転に巻き込まれ、ケガの原因となります。



禁止

使用中は、工具類や回転部、切りくずなどに手や顔を近づけないでください。●ケガの原因となります。



作業中は、材料を両手でしっかりと保持し、回転部へ材料を強く押し付け過ぎないようにしてください。



作業が終了しましたら、必ずスイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

本製品で湿式研磨（水研ぎ）作業をしないでください。



禁止

本製品専用または指定のアクセサリ以外は使用しないでください。

作業場に関して



- 作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。
- 作業をする場所が（1ページ）の「電動工具の安全上のご注意」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

延長コードに関して

⚠警告



延長コードは損傷のないものを用意してください。

電源の位置が離れていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示しています。

コードの太さ	コードの最大長さ
1.25mm ²	20m
2.0mm ²	30m

- 延長コードは本機のコードと同じ被覆（VCTF）を施したコードを使用してください。
- 延長コードを使用する際は、アース線を備えた3芯キャブタイヤケーブルを使用してください。

アース・漏電遮断器設置の確認

⚠警告



禁止

アース線をガス管に取り付けますと爆破の恐れがありますので、絶対にしないでください。



点検・確認

漏電遮断器について

- ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電遮断装置（漏電遮断器）が設置されていることを確認してください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の市販品の漏電遮断器をご使用ください。（労働安全衛生規格第333条、第334条・電気設備の技術基準第18条、第28条、第41条）



アースについて

- 感電事故防止のため、本機のベースプレート背面のアース接続用ネジよりアースを必ず取って安全作業をしてください。

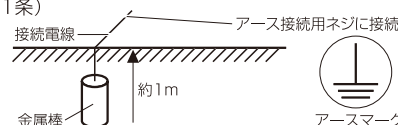


点検・確認

テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと機体金属外枠との間の導通を確認してください。

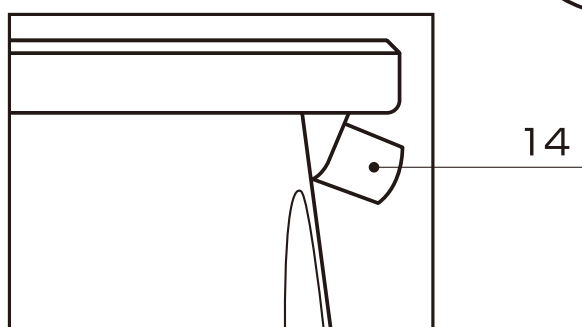
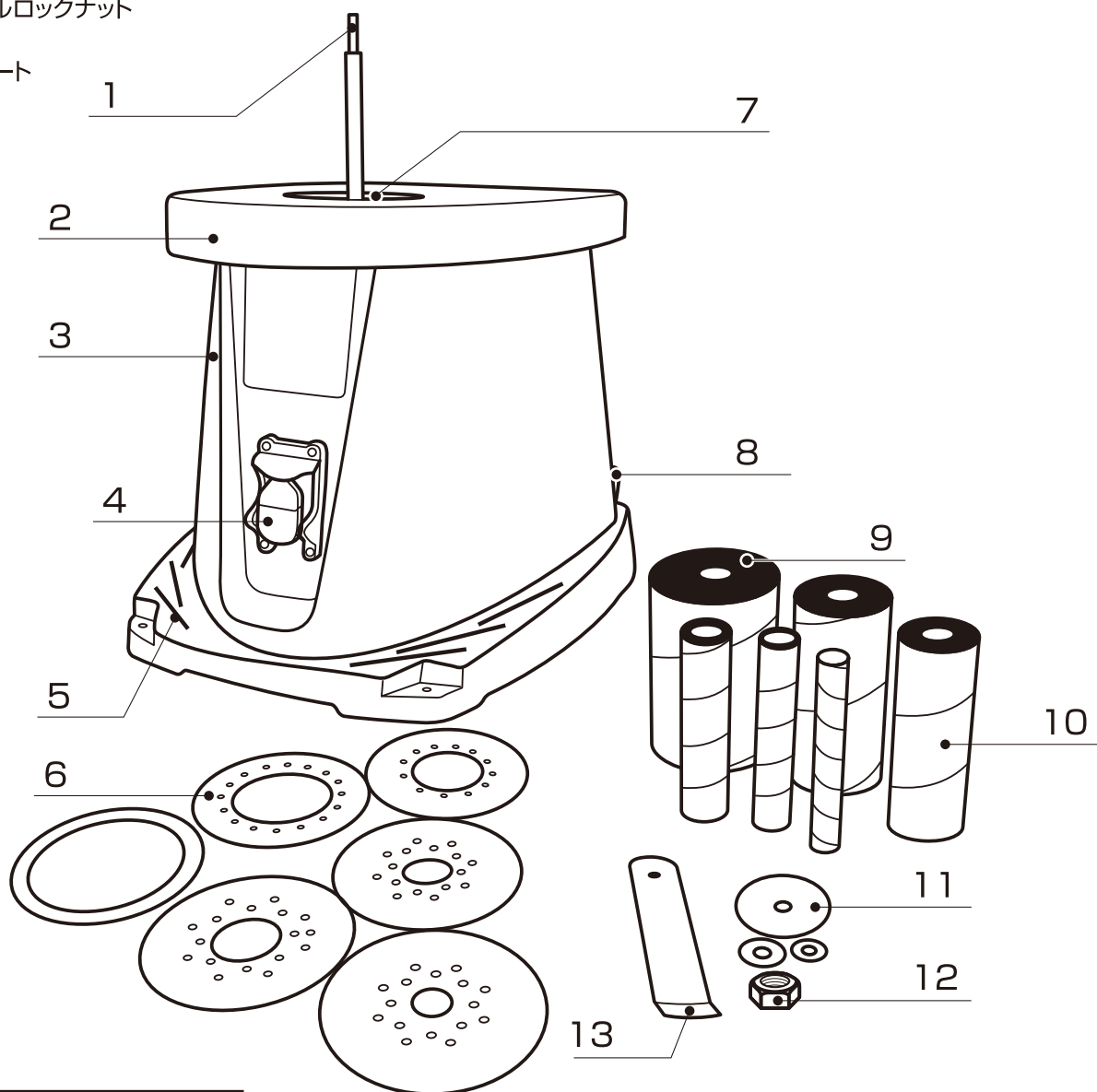


地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気店に御相談ください。



各部名称

1. スピンドル
2. テーブル
3. メインボディ
4. ON/OFFスイッチ
5. テーブルインサート収納部
6. テーブルインサート (6サイズ)
7. スピンドルワッシャー (下)
8. サンディングドラム収納部
9. ゴムドラム (5サイズ)
10. ペーパードラム (6サイズ)
11. スピンドルワッシャー (上) ※3サイズ
12. スピンドルロックナット
13. レンチ
14. ダストポート

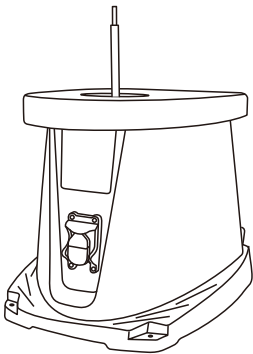
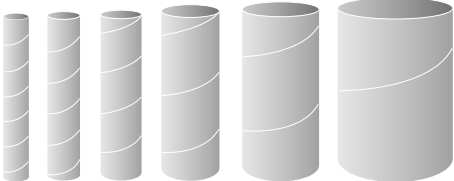
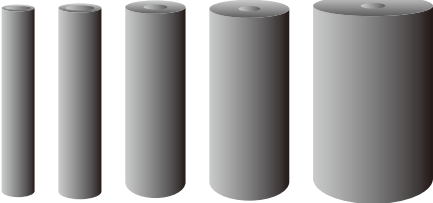
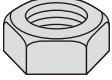
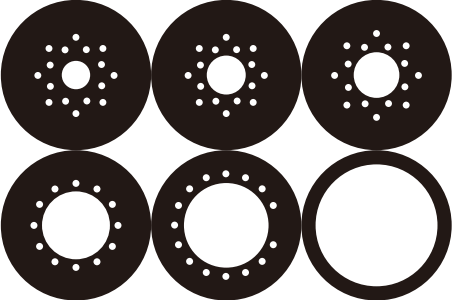


用途

- 木材の曲面研磨

付属品

- 組み立て前に各部品の数量をご確認ください。

部品名・形状	数量	部品名・形状	数量
●スピンドルサンダー本体 	1	●スピンドルワッシャー（上） ※大（46mm）、中（21mm）、小（15mm） 3サイズ 	3
●ペーパードラム（6サイズ） 	6	●スピンドルワッシャー（下） 	1
●ゴムドラム（5サイズ） 	5	●スピンドルロックナット（M8×1.25mm） 	1
●テーブルインサート（6サイズ） 	6	●レンチ 	1

スイッチの操作方法



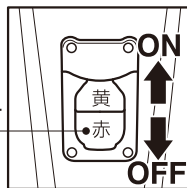
電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。

1.ON/OFF

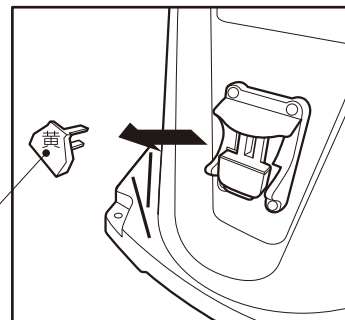
本体前面にありますスイッチの赤い部分をつまんで上へ引き上げますと、本機が作動します。

赤い部分を下へ下げますと、停止します。

電源スイッチ



ロックキー



2.ロックキーについて

スイッチOFFの位置の時に、スイッチの黄色のロックキーを手前に引き抜く事で、スイッチをロックする事ができます。ロックを解除する時は、ロックキーをしっかりと元の位置に差し込んでください。

組み立て方



警告



禁止

作業の際は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。●プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

①テーブルインサートを選定する。

作業に使われるサンディングドラムのサイズに対して、適切なサイズのテーブルインサートを選定しないと、テーブルインサートとサンディングドラムの間に隙間が大きく空き、指を挟まれたり材料が中に引き込まれる恐れがあります。

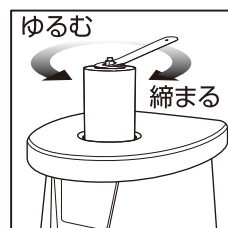
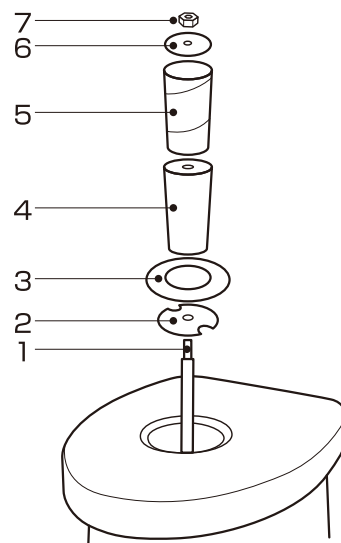
下表を参考にサンディングドラムとテーブルインサートを選定してください。

サンディングドラム直径	テーブルインサートサイズ	スピンドルワッシャー(上) サイズ
13mm	13mm	小
19mm	19mm	中
26mm	26mm	中
38mm	38mm	大
51mm	51mm	大
76mm	76mm	大

②サンディングドラムの取り付け

13mm直径のペーパードラムを除く、他の5サイズのペーパードラムは、それぞれ同じサイズのゴムドラムと一緒に本機へ取り付けます。

- 1.スピンドルワッシャー(下) (2) をスピンドル(1)に通してください。
- 2.作業に合ったゴムドラム(4)を選んでください。
- 3.ゴムドラム(4)のサイズに合ったペーパードラム(5)を選んでください。
※13mm直径のペーパードラムは、ゴムドラムを併用しません。
- 4.サンディングドラムとの隙間が最も小さくなるテーブルインサート(3)を選んでください。
- 5.スピンドル(1)にテーブルインサート(3)を通してテーブル中央開口部に取り付けてください。
- 6.ゴムドラム(4)をスピンドル(1)に通してください。
- 7.ペーパードラム(5)をゴムドラム(4)に差し込んで取り付けてください。
- 8.スピンドルワッシャー(上) (6) をスピンドル(1)先端部に通して取り付けてください。
ワッシャー(大):38、51、76mmサンディングドラム用
ワッシャー(中):19、26mmサンディングドラム用
ワッシャー(小):13mmサンディングドラム用
- 9.スピンドル(1)先端部に、スピンドルロックナット(7)をねじ込んでください。(時計回り)
- 10.ゴムドラム(4)が少し膨らんで、ペーパードラム(5)が固定される最低限の力で、スピンドルロックナット(7)をレンチで締め付けてください。



注：スピンドルナットは強く締め付け過ぎないように注意してください。

作業方法

⚠ 警告



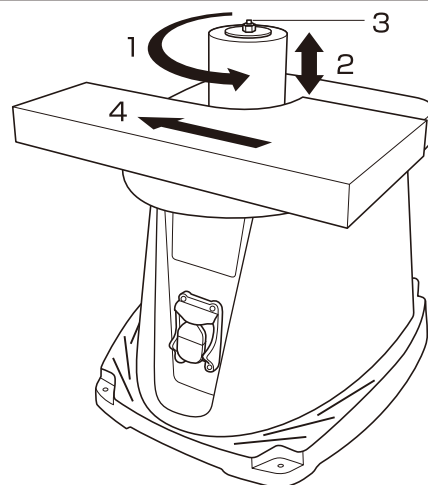
禁止

本製品で金属の研磨はしないでください。

スピンドルは反時計回り(1)に回転しながら、上下運動(2)します。

- 1.スピンドル先端のロックナットがしっかりと締め付けられていることを確認してください。(3)
- 2.電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源プラグをコンセントに接続してください。
- 3.スイッチをONにして作動させ、回転が安定するまで待ってください。
- 4.研磨する材料を両手でしっかりと保持しテーブルの上に置き、少しずつサンディングドラムに近づけてください。

- 無理に材料を押しつけ過ぎないでください。回転数が低下し能率が下がり、本機にも負担がかかります。
- 材料は右方向から左方向へ動かすように研磨してください。(4)
- 材料がサンディングドラムの裏側へかかると、材料が跳ね飛ばされるようになりますので、注意してください。



ダストポートと集塵

本機背面には集塵機を接続できるダストポートがあります。
お手持ちの集塵機を接続する事で、粉塵の少ない快適な作業ができます。

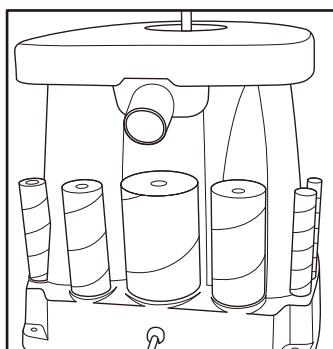
ダストポートの直径は、外径約38.5mm内径35.5mmです。

※別売のSK11集塵機接続アダプター-SAD-HS1を取り付けされますと
ホース内径が22～39mmまでの集塵機の接続ができます。

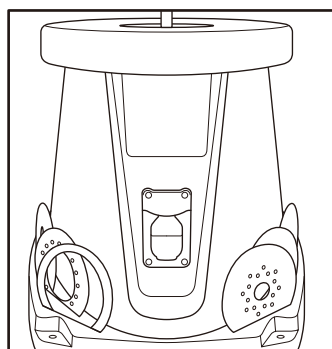


各種アクセサリーの収納

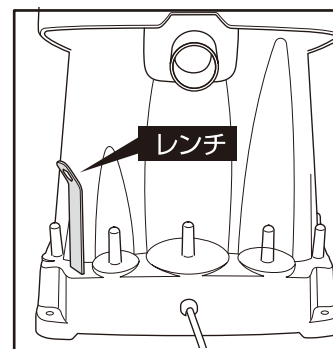
下図のように、本機にアクセサリーが収納できます。



●サンディングドラム
(本体背面、側面)



●テーブルインサート
(本体前面、側面)



●スピンドルロックナット用レンチ
(本体背面)

保守・点検

⚠ 警告



禁止

保守・点検の際は、必ず電源スイッチが切れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

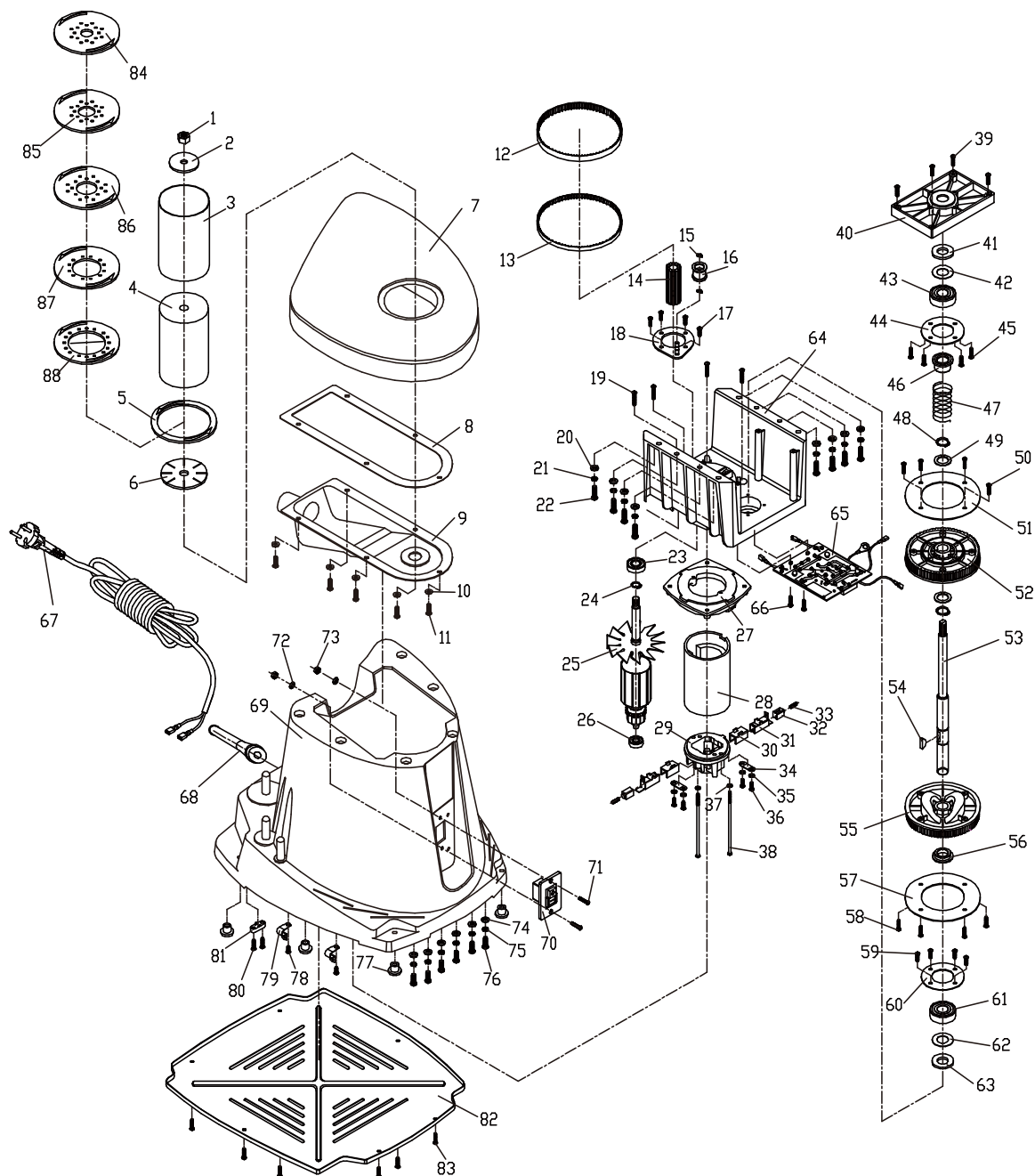
- プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

- 機体やアクセサリーに付着した粉塵は、作業終了ごとに丁寧に取除いてください。
機体から粉塵を取り除く際は、サンディングドラム、テーブルインサート、スピンドルワッシャー(下)を取り外して行ってください。スイッチ周辺部は特に注意して清掃を行ってください。粉塵がスイッチ内部に侵入、堆積しますと接触不良の原因となります。
- テーブルはサビが出ないように、時々油拭きされることをお勧めします。
- テーブルに自動車用ワックスを塗布して磨きますと、表面をきれいに保ち、材料も動かしやすくなります。

故障と対策

症状	原因	処理方法
●モーターが動かない ●スイッチが入らない	●カーボンブラシ部の粉塵目詰まり ●粉塵によるスイッチ接触不良 ●ロックキーが抜けている、差し込み不足 ●電源プラグがコンセントに入っていない ●モーター焼損 ●コード断線	●カーボンブラシ、ブラシホルダの清掃交換 ●スイッチ清掃、交換 ●ロックキーを差し込み確認 ●電源確認 ●修理依頼 ●修理依頼
●サンディングドラムが回らない、上下しない	●駆動ベルト摩耗、断裂 ●材料を押し付け過ぎ	●修理依頼 ●回転が落ちない程度の適度な荷重で作業してください。
●サンディングドラムが滑る、止まる ●ドラムペーパーが滑る、止まる	●スピンドルロックナットの締め付け不良 ●スピンドルワッシャー(上)の選定誤り ●ゴムドラム、ペーパードラムに粉塵が付着している ●材料を押し付け過ぎ	●スピンドルロックナットの締め付け確認 ●スピンドルワッシャー(上)の確認 ●ゴムドラム、ペーパーの清掃、交換 ●回転が落ちない程度の適度な荷重で作業してください
●異常な音がする	●駆動ベルト摩耗、断裂 ●機体内部に粉塵、異物が侵入している	●修理依頼 ●機体内部清掃、確認

分解図



部品表

番号	部品名	数量
1	六角ナット10mm	1
2-1	スピンドルワッシャー(上)ー小	1
2-2	スピンドルワッシャー(上)ー中	1
2-3	スピンドルワッシャー(上)ー大	1
3	ベーパードラム	1
4-1	ゴムドラムー19mm	1
4-2	ゴムドラムー26mm	1
4-3	ゴムドラムー38mm	1
4-4	ゴムドラムー51mm	1
4-5	ゴムドラムー76mm	1
5	テーブルインサートー76mm	1
6	スピンドルワッシャー(下)	1
7	テーブル	1
8	ダストワッシャ	1
9	ダストカバー	1
10	ワッシャーφ5	5
11	ネジ5×12	5
12	駆動ベルト I	1
13	駆動ベルト II	1
14	ベルトホイール	1
15	スプリングワッシャー	2
16	テンションローラーアセンブリ	1
17	ネジ4.2×13	4
18	プレートアセンブリ	1
19	ネジ4.2×22	4
20	ワッシャーφ6	4
21	スプリングワッシャーφ6	4
22	ネジ6×16	4
23	ベアリング6001ZZ	1
24	スプリングワッシャー	1
25	アーマチュアアセンブリ	1
26	ベアリング608ZZ	1
27	接続プレート	1
28	フィールドアセンブリ	1
29	リアカバー	1
30	ブラシホルダ I	2
31	ブラシホルダ II	2
32	カーボンブラシ	2
33	ブラシスプリング	2
34	コードクランプ	2
35	ワッシャーφ4	4
36	ネジ4.2×13	4
37	ワッシャーφ4	2
38	ネジ4.2×110	2
39	ネジ4.2×22	4
40	ベアリングカバー	1
41	フェルト	1

番号	部品名	数量
42	ゴムワッシャー	1
43	ベアリング6203ZZ	1
44	ベアリングサポート	1
45	ネジ4.2×15	4
46	ベアリングスリーブ	1
47	スプリング	1
48	スプリングワッシャー	2
49	スピンドルワッシャー	2
50	ネジ4.2×13	4
51	ホイールプレート	1
52	ホイール I	1
53	スピンドル	1
54	ピン	1
55	ホイール II	1
56	ベアリングスリーブ	1
57	ホイールプレート	1
58	ネジ4.2×13	4
59	ネジ4.2×13	4
60	ベアリングサポート	1
61	ベアリング6203ZZ	1
62	ワッシャー	1
63	フェルト	1
64	ホイールサポート	1
65	PCボード	1
66	ネジ4.2×19	2
67	電源コード	1
68	コードクランプ	1
69	ベースハウジング	1
70	スイッチ	1
71	ネジ4×16	2
72	ワッシャー	2
73	ナット	2
74	ワッシャーφ6	6
75	プリングワッシャーφ6	6
76	ネジ6×16	6
77	ゴム足	4
78	ネジ4.2×10	2
79	ネジ	2
80	ネジ4.2×15	2
81	コードクランプ	1
82	ボトムプレート	1
83	ネジ4.2×13	6
84	テーブルインサートー13mm	1
85	テーブルインサートー19mm	1
86	テーブルインサートー26mm	1
87	テーブルインサートー38mm	1
88	テーブルインサートー51mm	1

無料修理規定

- 1.取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
(1)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参、ご提示いただき、お申し付けください。
- 2.ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼に
なれない場合には、藤原産業(株)情報サービスセンターにお問い合わせください。
- 3.保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
(2)お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
(3)定格外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障または損傷。
(4)車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(5)業務用及びそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。
(6)本書のご提示がない場合。
(7)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名のない場合。販売店名を証
する物(レシートなど)の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた
場合。
- 4.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 5.本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束す
るものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するも
のではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お
買い上げの販売店にお問い合わせください。

SPINDLE SANDER

G U A R A N T E E

保 証 書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

形名	スピンドルサンダー SWS-330SP		お買い上げ日		保証期間
			平成	年	月
お客様	ご住所	〒			
	ご芳名				
	電 話	()			
販売店	住 所 店 名				

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改良や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (ニ) 本書の提示がない場合。
- (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元 **藤原産業株式会社**

保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。

当社製品のご相談は…



発売元 **藤原産業株式会社**

情報サービスセンター：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

東 京 支 店：〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9

九 州 営 業 所：〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220

札 幌 営 業 所：〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目2-1山忠ビル

仙 台 営 業 所：〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在字東通り44-1

中 部 営 業 所：〒471-0861 愛知県豊田市大林町17丁目7-16

広 島 営 業 所：〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11

Tel.0794-86-8200 (代) Fax.0794-83-5160

Tel.048-268-3939 (代) Fax.048-268-9191

Tel.0942-81-2307 (代) Fax.0942-81-2308

Tel.011-841-6007 (代) Fax.011-841-7139

Tel.022-287-5739 (代) Fax.022-287-5766

Tel.0565-25-2227 (代) Fax.0565-25-2239

Tel.082-875-7211 (代) Fax.082-850-0311





Fujiwara
Sangyo Co.,Ltd.
HYOGO MIKI

発売元 **藤原産業株式会社**

製品をご使用になる時は、安全に心掛けて正しくお使いください。